

2023年度第1回町田市スポーツ推進審議会
議事要旨

日時 2023年5月29日(月) 18:30~20:00

場所 町田市役所 10階 10-2会議室

出席者

川崎 登志喜	委員(会長)	玉川大学教育学部 教授
宮崎 光次	委員(職務代理)	桜美林大学健康福祉学群 教授
永吉 英記	委員	国土舘大学体育学部 教授
西井 義昭	委員	一般財団法人 町田市体育協会 副理事長
小川 由起子	委員	町田市スポーツ推進委員
水野 洋子	委員	NPO 法人スポーツ塾 J.VIC 理事長
渋谷 俊彦	委員	町田商工会議所 青年部会長
江口 寛征	委員	社会福祉法人合掌苑 特別養護老人ホーム合掌苑桂寮施設長
小八重 眞弓	委員	市民委員
川口 圭介	委員	市民委員
薄井 忍	委員	南中学校校長

欠席者

なし

事務局

文化スポーツ振興部長 篠崎 陽彦
文化スポーツ振興部スポーツ振興課長 高梨 光之
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当課長 根岸 良美
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 荒木 康伸
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 地寄 一敏
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 須田 恵美子
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 十河 真広
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主任 積 さゆり

傍聴者

0名

議事

1. 開 会

2. 事務局紹介

3. 議 事

(1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 の後期アクションプラン策定について

(2) 前期アクションプラン（2022 年度まで）の振り返りについて

4. 事務局から

5. 閉 会

<資料>

資料1 後期アクションプランの位置づけ

資料2 町田市スポーツ推進計画 後期アクションプランの策定にあたって
別紙 第3期スポーツ基本計画の概要（簡易版）

資料3 前期アクションプラン（2019～2023 年度）の振り返りと後期アクションプラン
（2024～2028 年度）策定に向けての課題

資料4 （参考）町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン（2019～2023 年度）

資料5 （参考）2022 年度 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況（詳細）

議事要旨

1. 開 会

2. 事務局紹介

事務局より開会の挨拶および出席職員の紹介を実施した。

3. 議 事

(1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 の後期アクションプラン策定について

(2) 前期アクションプラン（2022 年度まで）の振り返りについて

事務局より配布資料について説明が行われた。

川崎会長 資料について質問はあるか。

渋谷委員 基本目標1の中で高齢者のスポーツ推進について、2022年度実績が2028年度目標を達成しているが、目標値はこのままでよいのか。

事務局 2028年度目標は計画策定当初のものを記載している。

渋谷委員 目標が前倒しで達成できたということであれば、達成済みなどの記載があるとよいのではないか。目標を低く設定しているような印象をもたれてはもったいないと感じた。

川崎会長 次期計画では、より高い目標を設定できるとよい。

川崎会長 2022年度までの前期アクションプランを振り返ってのご意見をいただきたい。

薄井委員 「スポーツが嫌い」という子どもが少し減少したのは、オリンピック・パラリンピック等

の大規模な国際大会があったことも影響があっただろう。今後はアフターコロナ・ウィズコロナ時代に対応して、部活を含め自分たちが実際にスポーツを行う機会が増えることにより、状況を改善していけるとよい。

小八重委員 基本目標2 スポーツに関わる人材組織として、スポーツに関するボランティアを行った割合を目標数値にしているが、コロナの影響から数字が下がってしまっていると思われる。ただ、まちだサポーターズに参加している方の中には、市外からボランティアに参加している人も多くいる。今後も勉強会などをとおして、スキルアップを図り、支えるスポーツに関わる人を増やしていけるとよい。

川崎会長 市外から参加している人はどこから参加してきているのか、また、参加者の割合としてはどの程度なのか。

小八重委員 町田市内からの参加者が多いが、神奈川県、千葉県や埼玉県、遠くは大阪府からも参加している。

西井委員 基本目標2について、ボランティアの参加は盛んだと感じている。「まちだサポーターズ」は今後もっと定着していくとよい。

町田市の学校教育部で指導員を確保するために、会計年度任用職員としての採用を進めている模様である。当協会としても、指導に携わることができる指導員のリストアップを試みている。指導者の資質向上について今後も積極的に取り組んでいけるとよい。その中で指導者の資格の確認など、種目ごとに対応を充実していくことも検討していけるとよい。

川崎会長 スポーツ協会・スポーツ推進委員・学校、多様な主体の連携を促進していけるとよい。

小川委員 働き盛り世代のスポーツ推進を考えると子育て世代は親子で参加できる機会を充実していけるとよいだろう。また、高齢者はラジオ体操などを通してコミュニティやグループを形成していくことで日常的にスポーツを推進していけるとよい。

パラスポーツに対する子どもの関心を喚起していくには車いすの体験の機会を充実していくことも重要だろう。そのためにもう少しスポーツ推進委員が増えるとよいのではないかと。

事務局 スポーツ推進委員は現在18名おり、今後計20名に委嘱することを予定している。

江口委員 コロナ禍では高齢者は活動を自粛した団体が多かった。今後は活動が活発になっていくことが想定されるため、対応を考えていけるとよい。

パラスポーツは障がい者支援センターが窓口となって広がってきていると感じる。今後は市内でエリアごとに地域のニーズに対応した施策を推進していけるとよい。

普段自分が高齢者と接する際、自分がしたいことをしていきたいと考える層が多数を占めるように移り変わってきているように感じる。ニーズにマッチしたアクションプランに取り組むことで、自然と数字にも良い結果が現れてくるのではと考える。

川口委員 「70歳以上のスポーツを実施していない」という回答が減っているのはよいと感じている。働き盛り世代で忙しくてスポーツを実施できない人も多くいることから、スポーツをする機会を充実する施策を推進していけるとよい。また、地域のスポーツを支えるボラン

- ティアの活動の場の充実にも取り組んでいけるとよい。
- みるスポーツについては、トップスポーツの観戦需要も今後高まっていくと想定されるので対応を検討していけるとよい。
- 川崎会長 忙しくてスポーツを実施できない人が多いが、アンケート調査で実施しない理由として「施設が混雑しているから」といった趣旨の回答を把握できているのか。合わせて施設の利用者数の推移についてデータがあれば事務局から説明いただきたい。利用が増えることはよいことだと思うが、施設の利用しにくさを感じる人がでてしまうのはよくないことだと感じる。
- 西井委員 基本目標3「スポーツ環境の充実」は重要な施策だと考えている。市民や競技団体でも十分に施設を利用できていないケースもあるだろう。
- 事務局 スポーツ施設を利用しなかった理由で「施設の予約が取れないから」という回答も多くはないが、ある。スポーツ施設を利用しなかった理由としては「利用方法がわからない」「利用したいスポーツ施設が近くにないから」といった回答が多くなっている。
- 水野委員 パラスポーツについて、当事者が参加できていないということも想定される。また、当事者が一般的なスポーツを実施したいというニーズもあるだろう。全体をみて、障がい者のスポーツを推進していけるとよい。
- 子どもスポーツ推進については、小学5年生と中学2年生を対象に目標値を設定しているが、今後はより幅広い年代の状況を把握していけるとよい。
- 薄井委員 国の調査で全学年を聞いているものもある。うまく活用していけるとよい。
- 水野委員 「障がい者のスポーツに関わった」という回答の割合は、基本的に健常者が回答していることが推察される。パラスポーツに関わる人が増えるのはよいことだと思うが、当事者の参画を拡充していくことも重要な視点ではないか。
- 川崎会長 この点は今後具体的に議論していけるとよい。
- 渋谷委員 30～49歳のスポーツ実施率、スポーツに関するボランティアを行った割合、「町田市内でスポーツを観戦した」という回答の割合、の3つは現状をみると高い目標値が設定されており、達成が難しい状況にあるように思える。働き盛り世代のスポーツ参画の促進、スポーツを支える人材の育成、市内におけるスポーツ観戦をする人の増加のためには、経済界との連携も重要になってくると感じている。市内においては商工会等の組織との連携を進めていけるとよい。
- 川崎会長 市内だけでなく、市内の様々な組織・団体等の連携を促進していけるとよい。
- 永吉委員 後期アクションプランの計画期間となるアフターコロナ・ウィズコロナ時代では、人が集まる取り組みも盛んになっていくことが想定される。市民一人ひとりのスポーツ意識の高まりとあわせて対応を考えていけるとよい。
- 適切にスポーツ情報を発信していくことで多様な世代がスポーツに参画できる施策を推進していけるとよい。
- 宮崎委員 基本目標2について、コロナ禍でボランティア参加の機会が減少したが、今後重要が高ま

ってくると考えている。大学では運動部活動の地域移行への対応などもふまえて様々な取組を進めており、学生が地域に出ていくことも推奨している。大学、産業界、地域のスポーツ関係団体とも連携・協働して、指導者の質の向上なども含めて支えるスポーツを一層充実していけるとよい。

川崎会長 本日の要点を整理して事務局で検討を進めていく。次回審議会では具体的な議論を進めていけるとよい。

4. 事務局から

事務局から次回の日程について説明を行った。

5. 閉 会